

施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



1 施策の基本情報(Plan)

施策名	11 生涯を通した健康づくり	
目的	対象	市民
	意図	生涯にわたり健康な生活を送ることができる身近な地域で安心して医療を受けられる
施策の方向	市民が主体的に取り組む地域健康づくりや疾病予防を推進するとともに、疾病の早期発見・早期治療体制及び重症化予防の充実を図ります。また、医療保険制度改革に適切に対応した保健行政の推進を図ります。	

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

<p>令和6年度は、コロナ禍後の社会情勢なども踏まえ、「調布市自殺対策計画（第2次）」を策定したほか、総合的ながん対策の推進では、がん相談サポート事業や男性へのHPVワクチン接種費用の一部助成を開始したほか、ウィッグ等の購入費助成の拡充、産学官連携によるがん検診の受診率向上の取組等と併せて、調布市医師会等と連携してがん検診のあり方を検討した。</p> <p>さらに、新型コロナウイルスの定期接種化への対応をはじめとする予防接種事業や感染症対策、休日夜間診療・障害者歯科診療機能を含む医療ステーションの移転に向けた検討、災害医療対策の検討を進めるとともに、受動喫煙防止対策や歯と口腔の健康、生活習慣病予防など「調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）」に基づく各取組も継続した。</p> <p>また、国民健康保険事業についても、第3期調布市国民健康保険データヘルス計画を推進し、各保健事業の実施により、加入者の健康増進を推進した。</p> <p>令和7年度も、市民のからだどころの健康づくりに向けた各種施策を推進する。</p>

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
健康だと感じている市民の割合	%	69.8 令和4年度	74.8	72.4	80.0 令和8年度	▼	・基準値は上回ったが、前年度より2.4ポイントの減となった。年齢別では60歳前半で3ポイント減となった。 ・引き続き、目標値達成を目指して計画的な取組を推進していく。
定期的ながん検診を受けている人の割合	%	47.1 令和4年度	48.6	51.6	55.0 令和8年度	○	・前年度より3ポイント増となり、令和元年度以降で最も高くなった。 ・年齢別では60歳台～70歳前半で大きく増加した一方、若い世代の受診率が低いため、啓発・受診勧奨の各取組の継続・改善を図る。
特定健康診査の受診率	%	51.1 令和3年度	53.3	53.2	55.0 令和8年度	▼	・基準値と比べ2.1ポイント上昇しているものの、前年度より0.1ポイントの減となった。多摩地域では高い受診率を維持しているが、目標値達成に向け、引き続き取組を推進していく。

※ ○：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■11-1 からだどころの健康づくりの推進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
43	歯と口腔の健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	・妊婦・乳幼児の歯科健・検診や相談室、成人・高齢者の各種検診を実施した。 ・申込制検診の申込方法の改善・DX化（従来のハガキに加え、QRコードによる電子申請を導入）を図った。 ・啓発チラシ「調布市がん通信」による申込み制検診の周知や、申込み制検診で例年個別受診勧奨している20歳に加え30歳にも個別受診勧奨を行った。 ・令和6年12月に、三師会と市で「新医療ステーションの整備に向けた検討会」を設置し、障害者歯科診療機能を含む医療ステーションの移転に向けた協議を進めた。 ・調布市歯科医師会との共催による「歯と健康のつどい」を開催した。	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・令和7年4月の組織改正に伴い、子ども生活部子ども家庭センターが設置され、母子の歯科保健事業を移管したことから、年代に応じて複数の部署で連携して取組を進める。 ・引き続き、三師会と市で医療ステーションの移転に向けた、事業・運営等に関する協議を進める。 ・組織改正に伴う業務の見直しや、若年層の歯周病検診受診勧奨の取組、DX活用等による申込方法の改善などを検討する。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)		今後の取組の方向(Action)
<p>①コロナ禍後の社会情勢なども踏まえ、「調布市自殺対策計画（第2次）」を策定した。</p> <p>②J：COMと連携し、市内・近隣の高校生を起用した若者向けゲートキーパー啓発動画を制作し、啓発を実施した。</p> <p>③食育講演会や市内企業との連携による市内小学生対象の食育セミナーを開催したほか、健康・食育プランを紹介する食育ガイドを作成・発行した。</p> <p>④受動喫煙対策では、世界禁煙デー・禁煙週間のキャンペーンや謎解きを活用した啓発チラシの全戸配布により、調布市受動喫煙防止条例の内容や過料規定等について周知するとともに、調布市医師会・市内企業等の協力のもと、禁煙相談事業や防煙教育などを実施した。</p> <p>⑤調布市医師会等の関係機関と連携し、多摩川病院・慈恵第三病院で緊急医療救護所訓練や通信訓練を実施した。</p>		<p>①②新たな計画に基づき、生きづらさを抱える方への支援やゲートキーパーの養成、未遂者支援の検討など自殺対策を推進する。</p> <p>③「調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）」に基づき、引き続き、関係機関・市内連携の下、健康・食育分野の事業を推進する。また、市制施行70周年を記念し、著名な講師を招聘し食育講演会を開催するとともに食育セミナーと連動した事業として実施する。</p> <p>④引き続き、調布市医師会・市内企業等と連携し、調布市受動喫煙防止条例や受動喫煙対策の周知・啓発を図る。</p> <p>⑤調布市医師会等と緊急医療救護所・通信訓練等を継続し、災害時における初動医療体制の充実を図る。</p>

■11-2 疾病の早期発見・早期治療体制・重症化予防の充実

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
44	【重点③】 総合的ながん対策の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	<p>・がん検診体制あり方検討会を開催し、科学的根拠に基づく効果的ながん検診の実施や受診率向上のため検討を進めた。</p> <p>・HPVワクチンについて、定期接種・キャッチアップ接種を継続するとともに、小学6年生から高校1年生相当の男子を対象に接種費用の一部助成を開始した。</p> <p>・がん患者・家族の支援施策に関する検討会で検討・検証を行い、令和6年8月からがん相談サポート事業を本格実施した。</p> <p>・がん患者へのウィッグ等の購入費助成を拡充した（上限3万円に引き上げ）。</p> <p>・産学官連携によるがん啓発プロジェクト（CAJプロジェクト）として、若者向け啓発動画・チラシを制作し、啓発を行った。</p> <p>・市内企業と連携し、年4回の啓発チラシの全戸配布により、がん検診の案内や患者支援の取組紹介などを実施した。</p>	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<p>・令和7年4月の組織改正に伴い、子ども生活部子ども家庭センターが設置され、子どもの予防接種事業を移管したことから、年代に応じて連携して取組を進める。</p> <p>・がん検診体制あり方検討会の検討結果を踏まえ、国によるシステム標準化を見据え、国の指針及び科学的根拠に基づくがん検診の実施に向けた準備を行う。</p> <p>・がん患者・家族の相談・支援体制等の支援施策に関する検討会による協議を継続するとともに、がん相談サポート事業の検証や仕事と治療の両立支援に関する検討を進める。</p> <p>・HPVワクチンのキャッチアップ接種については、国が時限的な接種期間の延長を示したため、対象者への周知等適切に対応する。</p> <p>・組織改正に伴う事業の見直し・DX活用等による業務改善を検討する。</p>

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)		今後の取組の方向(Action)
<p>①新型コロナウイルスワクチン接種については、特例臨時接種が終了し定期予防接種へ移行したため、調布市医師会等と連携しながら令和6年10月から定期予防接種を開始した。</p> <p>②帯状疱疹ワクチンの任意接種費用の一部助成を実施するとともに、国の方針に基づき、高齢者への定期接種化への対応検討を進めた。</p> <p>③高齢者肺炎球菌ワクチンの任意接種費用の一部助成を実施した。</p> <p>④新型インフルエンザ等対策行動計画については、令和6年7月に新型インフルエンザ等対策政府行動計画が改定され、同年12月に市町村行動計画作成の手引きが示されたため、内容把握とともに近隣自治体の動向について情報収集を行った。</p> <p>⑤令和6年度未までとされていた風疹の追加的対策事業（公的な風しんの予防接種を受ける機会がなかった世代の男性対象）を実施した。</p>		<p>①新型コロナウイルスワクチン接種に関する国の補助金が見直されることから、近隣自治体の動向も含め情報収集し、自己負担額の検討を進める。</p> <p>②帯状疱疹ワクチンの定期予防接種・任意接種に適切に対応する。</p> <p>③高齢者肺炎球菌ワクチンの任意接種費用の一部助成は令和6年度限りで終了し、今後は定期接種を継続する。</p> <p>④新型インフルエンザ等対策政府行動計画や国の示す手引き、今後改定予定の東京都新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、市の行動計画の改正を検討する。</p> <p>⑤風疹の追加的対策事業については、国が時限的な接種期間の延長を示したため、対象者への周知等適切に対応する。</p>

■11-3 国民健康保険事業等の実施

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
45	国保ヘルスアップ事業の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	<p>・第3期調布市国民健康保険データヘルス計画を推進し、各保健事業の実施により、加入者の健康増進を推進</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<p>・第3期調布市国民健康保険データヘルス計画に位置付けた個別保健事業を確実に実施し、PDCAサイクルに則った評価を実施</p> <p>・令和8年度に行う中間評価に向けた検討を実施</p>

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)		今後の取組の方向(Action)
<p>①国民健康保険制度の安定的な運営に努め、引き続き、医療費の適正化や国保財政健全化計画に取り組んだ。</p> <p>②令和6年7月から国民健康保険に関する問い合わせについて自動音声による電話案内（24時間受付）を開始し、加入者の利便性の向上に務めた。</p>		<p>①国民健康保険制度の安定的な運営に向けて、医療費の適正化を推進し、国保財政健全化に向けた取組を進める。</p>

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和6年度の取組実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病等の発症予防や病気による死亡リスクの低下、生活機能レベルの低下の予防など、健康寿命を延ばすための事業について、PHRの推進やビッグデータの活用により、デジタル技術を活用しながら推進する。 健（検）診や各種健康事業等において、電話やハガキによる申込方法にインターネットフォーム等によるスマートフォンで完結する方法をさらに拡大するほか、申込者へのリマインド方法を検討し、受診率・参加率の向上を図る。【令和6年度・7年度以降】 自動音声による国民健康保険に関する電話案内（24時間受付）サービスを通して、市役所に行かずにスマートフォンや携帯電話でできる手続を案内し、加入者の利便性向上と事務の効率化を図る。【令和6年度・7年度以降】 	<ul style="list-style-type: none"> アフラック生命保険（株）と調布市の間で締結した「調布市とアフラックとのがん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づき、がんに関する普及啓発やがん検診の受診奨励などの取組を推進する。【令和6年度・7年度以降】 がん患者支援、受動喫煙対策、自殺対策に関して、民間企業・大学・病院・保健所等と連携した取組を推進する。【令和6年度・7年度以降】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
<ul style="list-style-type: none"> 調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）に基づく食育を推進することを通じて、食品ロスの削減につなげる。【令和6年度・7年度以降】 環境への負荷の少ない自転車の利用の促進を図ることにより、市民の健康増進につなげる。 クーリングシェルターの周知を推進し、環境に配慮した熱中症予防の周知・啓発に努める。 老朽化した庁用車の更新にあたっては環境に配慮した車両の導入を原則とする。 医療ステーションの移転に際しては、環境に配慮した施設整備等を検討する。【令和6年度・7年度以降】 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所での生活となった際の健康を守るため、普段の健康づくり意識の醸成や、運動習慣・体力づくりに繋がる各種取組を推進する。【令和6年度・7年度以降】 調布市医師会等の関係機関との継続的な緊急医療救護所訓練や通信訓練を通じて、災害時における初動医療体制の充実を図る。【令和6年度・7年度以降】 感染対策用品については、ローリングストックの視点を取り入れながら、備蓄品の確保・充実を行う。【令和6年度・7年度以降】 医療ステーションの移転に際しては、フェーズフリーの考え方を踏まえて整備を進める。【令和6年度・7年度以降】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

<ul style="list-style-type: none"> 健（検）診や予防接種等のデータを記録・管理する健康管理システムを、国が示す標準仕様に適合したシステムに移行する必要がある。 後期基本計画、健康・食育プラン（第4次）及び自殺対策計画（第2次）の計画期間の最終年度である令和12年度に向けて、現行プラン・対策計画に基づき、市民のこころとからだの健康づくりの推進に向けた各種施策を分野横断的に取り組むとともに、次期プラン・対策計画は統合し、健康づくり・食育・自殺対策の推進に関する総合計画として策定に取り組む。 令和8年度に改定予定の調布市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、業務継続計画（BCP）の策定や住民接種マニュアル等の作成を検討する。 がん検診体制あり方検討会の検討結果を踏まえ、令和9年度以降の制度改正を見据え、国の指針及び科学的根拠に基づくがん検診の実施に向けた検討を進める。 第3期調布市国民健康保険データヘルス計画では、令和8年度に実施する中間評価を踏まえた個別保健事業の実施を推進するとともに、データヘルス計画の最終年度である令和11年度に向けて最終評価を行い、国や東京都の動向を注視しながら、第4期計画の策定を行う必要がある。
